

農作業コツのコツ

【第11号】

令和6年6月29日
 福光農業改良協議会
 砺波農林振興センター南砺班
 福光農業協同組合 営農部

飽水管理や間断かん水での干しすぎに注意しましょう。

熱中症にならないよう水分と塩分を補給し、こまめに休憩をとりましょう。

水稻の生育は、概ね平年並みとなっています。
 生育状況に応じて早生品種は出穂期まで**飽水管理**を、コシヒカリやてんこもり、直播栽培は幼穂形成期頃まで**間断かん水**を行い、稲体活力の維持を図りましょう。飽水管理や間断かん水での干しすぎは、**収量の低下につながる**ので注意しましょう。

水稻の生育状況

(6月25日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期		
	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	R6	平年	
とみちから	5/ 6	5/ 3	57.7	58.8	28.9	27.4	12.2	11.2	4.3	4.3	(6/27)	6/24	
五百万石	5/ 5	5/ 3	47.4	51.7	21.7	19.8	12.4	11.8	4.3	4.3	(6/27)	6/26	
てんたかく81	5/ 5	5/ 3	59.1	52.6	27.2	27.3	11.0	10.9	4.4	4.4	(6/26)	6/26	
コシヒカリ	5/14	5/13	50.8	48.4	24.7	23.6	10.5	10.3	4.2	4.2	—	7/10	
てんこもり	5/13	5/ 8	42.5	41.3	40.8	33.5	11.4	11.1	4.3	4.3	—	7/13	
密苗	てんたかく81	5/ 4	5/ 4	51.1	50.6	30.3	25.7	10.9	10.5	4.5	4.4	(6/28)	6/26
	コシヒカリ	5/19	5/15	40.5	42.5	20.7	26.2	9.7	10.1	4.4	4.3	—	7/14
	てんこもり	5/ 9	5/ 9	37.9	39.2	36.5	34.4	11.2	10.7	4.3	4.3	—	7/15

※てんたかく81の平年値はR4、R5年の値

コシヒカリ(慣行苗のみ)3筆、他2筆

水稻

1 水管理

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

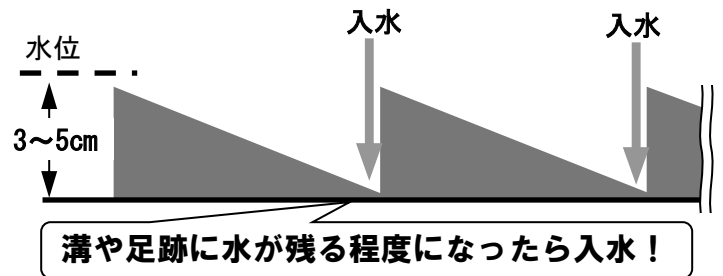
- ① 溶出された穂肥成分を効率的に吸収し、稲体の活力を維持するため、出穂期まで足跡に水が残る程度の**飽水管理**を行いましょ。
- ② 葉色が濃く、茎数が多いほ場では、過剰着粒を防ぐため、幼穂形成期後も7月上旬頃まで間断かん水を継続しましょう。

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

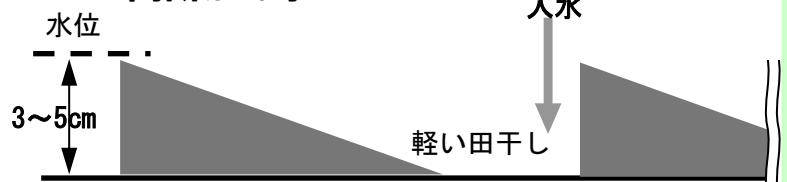
- ① **間断かん水**を行い、幼穂形成期までに足が3cm沈む程度の硬さに仕上げましょ。
- ② てんこもりは、葉色が4.0を下回らないよう**干しすぎに注意**ましょ。
- ③ 茎数が過剰または葉色が濃いほ場は、落水期間がやや長めの間断かん水を行いましょ。

飽水管理で干しすぎると、穂数や1穂粒数が減少し、収量低下につながります

飽水管理



間断かん水



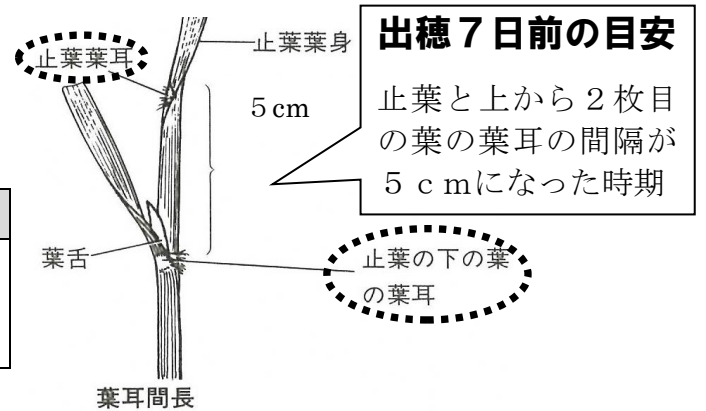
2 穂肥施用

(1) とみちから、五百万石、てんたかく81

肥効調節・分施肥系ともに、出穂7日前に葉色を確認し、葉色が基準より淡い場合は出穂3日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょ。

○早生品種の追肥施用の目安

品種	葉色確認	葉色	施用量
とみちから	7月12日頃	4.5以下	BB 穂肥 35号 10kg/10a
五百万石	7月11日頃	4.2以下	
てんたかく81		4.0未満	



(2) てんこもり

肥効調節・分施体系ともに、幼穂形成期前に**葉色4.0**未満の場合は、直ちに**BB 穂肥 35 号**で10a当たり**11kg程度施用**しましょう。

3 病害虫防除

(1) 畦畔等の草刈り

- ①水田周辺の雑草地等では、斑点米カメムシ類が平年並みに多く確認されています。畦畔等の**草刈り**を徹底し、カメムシ類の発生量を少なくしましょう。
- ②雑草の穂がカメムシ類の繁殖場所となるため、一斉草刈り後は草の穂が出ないようにこまめに草刈りを行いましょ。
- ③本田内のノビエやホタルイは、カメムシ類による被害を助長するので、除草に努めましょ。

一斉草刈り日 6月29日(土)、30日(日) 草刈り運動期間 6月28日～7月7日

(2) 随時防除

葉いもち、紋枯病の病斑や葉を食害する害虫を発見したら、早期に防除ましょ。

- ①**イナゴ類**の発生が多い場合は、若齢幼虫期(6月下旬～7月上旬)に防除を行いましょ。
- ②茎数がやや過剰なほ場では**紋枯病**の発生が懸念されます。現在、早生品種は防除適期(出穂14日前頃)になっており、発生が見られたら速やかに防除ましょ。
- ③稲こうじ病の常発地では、出穂10日前までに薬剤を散布ましょ。

○随時防除の目安

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	発生をみたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				1,000倍で60～150ℓ
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60～150ℓ
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	穂ばらみ期まで	出穂10日前まで	—	4kg
	トライフロアブル		収穫14日前まで	2回以内	1,000倍で60～150ℓ
イナゴ類(若齢)	トレボン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	3回以内	4kg

※無人航空機での防除

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシンフロアブル	発生をみたら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	8倍で0.8ℓ
紋枯病	バリダシンエアー	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	8倍で0.8ℓ
稲こうじ病	トライフロアブル	穂ばらみ期まで	収穫14日前まで	2回以内	8倍で0.8ℓ
イナゴ類(若齢)	トレボンエアー	直ちに	収穫14日前まで	3回以内	8倍で0.8ℓ

大豆

※詳しくは、「営農とくらし」P54～55を参照してください。

1 培土

生育量の確保と雑草の抑制のため、**培土**は確実に**2回**行いましょ。

○培土の目安

- 1回目は本葉2～3葉期 → 子葉が隠れるまで(播種後20～25日頃)
- 2回目は本葉4～5葉期 → 初生葉が隠れるまで(播種後30～35日頃)

2 雑草防除

- (1) 培土後に雑草が残った場合は早めに除草剤を散布ましょ。
※培土前に雑草が多発している場合やほ場が軟らかく培土できない場合は、培土前に除草剤を散布ましょ(※「営農とくらし」P93参照)
- (2) 多量の降雨が予想される場合は、除草剤の使用は避けましょ。

3 溝の手直し

降雨後、溝に水が停滞している場合は、**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょ。